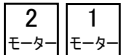
ウチヱのベッド

爽ベッド 3モーター 2モーター 1モーター

さわやか

品番：SB−3000(3 モーター)
SB−1000(2 モーター)
SB−2000(1 モーター)

ご使用のしおり

このたびは、弊社の『爽(さわやか)ベッド（3 モーター・2 モーター・1 モーター）』をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

この取扱説明書には、ベッドを安全にお使いいただくための注意事項、組立、分解の方法や使用方法などを記載しています。

- ご使用になる前に、本書をよくお読みのうえ正しくお使いください。
- 本書はいつでも見られる場所に、必ず保管しておいてください。
- 本品を他のお客様へお譲りになるときは、必ず本書も合わせてお渡しください。
- お買い上げのベッドは改良などにより、この「ご使用のしおり」の内容と一部異なる場合があります。

もくじ

①各部のなまえ

18 ページ
背ボトム

7 ページ
手元スイッチ

9、19 ページ
ヘッドボード

18 ページ
サイドガード
（頭側）

17 ページ
座ボトム

9、19 ページ
フットボード

あたま

あし

15 ページ
アダプター

18 ページ
足ボトム

19 ページ
ボードストッパー

15 ページ
電源コード
約 3m

9、16 ページ
スライドパイプ（頭側）

脚部

電源プラグ

22 ページ
サイドレール取付口

15 ページ
ベースフレーム

9、16 ページ
スライドパイプ
（足側）

9 ページ
マットレス止め

18 ページ
サイドガード
（足側）

15-16 ページ
可動部フレーム

アダプター

②安全上の注意事項

必ずご使用前に、この「安全上の注意事項」をよくお読みになり、正しくお使いください。

こちらの注意事項は、製品を安全にお使いいただき、あなたや他の人々への危害や、損害を未然に防止するためのものです。 いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。

■表示と絵表示について

表示内容を無視し、誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を次の表示で区分し、説明しています。

表示	説明
警　告	「人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容」を示しています。
注　意	「人が軽症を負う可能性及び物的損害の発生が想定される内容」を示しています。
感電注意	△記号は、警告・注意を促す内容があることを告げるものです。記号の中や近くに具体的な注意内容（左の図の場合は「感電注意」）が描かれています。
分解禁止	○記号は、禁止の行為であることを告げるものです。記号の中や近くに具体的な禁止内容（左の図の場合は 「分解禁止」）が描かれています。

警告シールについて

ベッドをお使いの方に、特に注意していただきたいことをシールにして、ヘッド・フットボードの内側、可動部フレームの上面・側面に貼っています。
警告シールをはがしたり傷をつけないでください。
万一警告シールが傷ついたり、はがれた場合は、新しいシールを貼り直してください。

警告
●ベッド操作中はベッドのボトムとフレームとの間に、頭、首、腕や足などを入れないでください。
●上がった背ボトムを後ろから押さないでください。前に倒れてけがをするおそれがあります。
ウチヱ株式会社

⚠ 警 告

●治療中の方は医師に相談をしてください。

現在治療中の方は、ベッドの操作が症状を悪化させる可能性があります。ベッドのご使用に際しては、かかりつけの医師にご相談ください。

●指定適合品以外の製品とは組み合わせないでください。

指定する適合品以外の製品と組み合わせると、けがや故障の原因となります。

●サイドレール、ベッド用グリップやヘッド・フットボードのすきまに腕や足などが入らないように注意してください。

腕や足などが抜けなくなり、けがをするおそれがあります。

●サイドレールやベッド用グリップと、ヘッド・フットボードのすきまに首、腕や足などが入らないように注意してください。

頭、首、腕や足などが抜けなくなり、けがをするおそれがあります。

●サイドレールやベッド用グリップと、ボトムやマットレスなどのすきまに頭、首、腕や足などが入らないように注意してください。

頭、首、腕や足などが抜けなくなり、けがをするおそれがあります。

●サイドレールやベッド用グリップから頭、首、腕や足などを出さないでください。

頭、首、腕や足などがベッド操作時にはさまれて、けがをするおそれがあります。

●上がっている背ボトムに寄りかからないでください。特に背ボトムを足側には押さないでください。

安全上、背ボトムはフリーホイールになっており、不意に背ボトムが動いてけがをするおそれがあります。

●サイドレールやベッド用グリップ使用時でもベッドからの転落に注意してください。

・サイドレールとサイドレールのすきまや、サイドレールとベッド用グリップのすきまから転落し、けがをするおそれがあります。

・サイドレールやベッド用グリップの上から身を乗り出して転落し、けがをするおそれがあります。

・背上げをした状態で使用をされる場合、ベッドからの転落に注意してください。

●マットレスからサイドレールやベッド用グリップ上端までの高さは、22cm以上確保してください。

寝返りや体位変換時に転落するおそれがあります。

●ベッド用グリップの使用中は、ベッドにしっかり固定されているか確認してください。

固定ネジがゆるんでいると、ベッド用グリップが不意に抜け、けがをするおそれがあります。

●仰向け以外(うつぶせや横向き)で寝た状態で、背上げや膝上げ操作をしないでください。

無理な姿勢となり、けがをするおそれがあります。

●ベッドは正しい向きで使用してください。

頭側・足側の向きを確認してください。背上げ、膝上げした状態で逆に寝たり、逆に寝た状態で背上げや膝上げ操作をすると、けがをするおそれがあります。

●ベースフレームに足を掛けないでください。

ベースフレームに足を掛けたり、足を入れたりしないでください。可動部にはさまれてけがをするおそれがあります。

●ベッドの下に潜り込んだり、頭、首、腕や足などを入れないでください。

ベッドの可動部、フレームやサイドレールとの間に頭、首、腕や足などをはさまれてけがをするおそれがあります。
ベッド周辺に障害物が無いかを確認してから、ベッドの操作をしてください。

●ベッド操作中はベッドのボトム(背・座・足ボトム)と可動部フレームの間に、頭、首、腕や足などを入れないでください。

ボトム(背・座・足ボトム)と可動部フレームの間にはさまれて、けがをするおそれがあります。

⚠ 警 告

●ベッドを操作する場合は、ご使用者の状態に注意してください。

背上げや高さ調節中にご使用者が動かれると、ベッドから転落したり、すきまにはさまれてけがをするおそれがあります。体位を保持できない方は、介護者が身体を支えながら操作してください。

●ベッドから離れる場合は、ボトムの角度やベッドの高さに注意してください。

介護者がベッドから離れる場合は、ご使用者のベッドからの転落に備えて、ボトムの角度を水平にし、ベッドを一番低い高さにしてください。

●子供や幼児、操作が理解できないと思われる方に、ベッド操作をさせないでください。

子供や幼児、操作が理解できないと思われる方（認知症の方など）が一人で手元スイッチに触れる可能性がある場合には、電源プラグを抜いて、誤操作による事故を未然に防いでください。

●サイドレール、ベッド用グリップやヘッド・フッドボードに腰掛けないでください。

ベッドから転落・転倒してけがをするおそれがあります。また、ベッドが変形、破損してけがをするおそれがあります。

●ヘッド・フットボードに過度な荷重をかけないでください。

ヘッド、フットボードが破損し、けがをするおそれがあります。

●ヘッド・フットボードを持ってベッドを移動させないでください。

ヘッド、フットボードが破損し、けがをするおそれがあります。

●ヘッド・フットボードの上から身を乗り出さないでください。

転落してけがをするおそれや、破損するおそれがあります。

●最大使用者体重を守ってください。

このベッドの最大使用者体重は、130kg です。それを超えて使用すると、ベッドの破損やけがをするおそれがあります。
介護者が一時的にベッドに乗る場合は、次の点を確認してください。
・ベッドにかかる荷重が最大使用者体重 130kg を超えていないこと。

●2 人以上で使用しないでください。

このベッドは一人用の設計になっています。 2 人以上で使用すると、ベッドが破損してけがをするおそれがあります。
介護者が一時的にベッドに乗る場合は、次の点を確認してください。
・ベッドにかかる荷重が最大使用者体重 130kg を超えていないこと。

●乳幼児やお子様には使用しないでください。

本製品は、乳幼児やお子様向けに設計されていません。乳幼児やお子様が使用されると、サイドレールなどのすきまにはさまれて、けがをするおそれがあります。また、サイドレールやベッド用グリップ使用時でもすきまから転落して、けがをするおそれがあります。

●踏み台がわりに使用しないでください。

ベッドから転落、転倒してけがをするおそれがあります。

●ベッドの上で飛び跳ねないでください。

けがや故障の原因となります。子供や幼児には特にご注意ください。

●ベッドの下に入る際は電源プラグを抜いてください。

プラグを抜く

誤操作によりけがをするおそれがあります。

●電源プラグにホコリを付着させないでください。

電源プラグの表面にホコリが付着している場合、乾いた布などでよく拭き取ってください。
発火するおそれがあります。

●水などをこぼさないでください。

感電注意

アクチュエーターや手元スイッチに水などの液体がかかると、感電やショート、故障の原因となります。 水などの液体がかかってしまった場合は、必ず電源プラグをコンセントから抜き、お買い上げの販売店にご連絡ください。

⚠ 警 告

●コード（電源コード・手元スイッチ）を傷つけないでください。

感電注意

・ベッドを設置される際は、コードを踏まないように気をつけてください。
・コードに重いものを載せたり、無理な力で引っ張ったりしないでください。
・ベッドの可動部でコードを挟まないように気をつけてください。コードが破損し、感電、故障、火災のおそれがあります。
・傷んだコードは必ず電源プラグをコンセントから抜き、お買い上げの販売店にご連絡ください。

●電子治療器を使用する時は、かならずベッドの電源プラグを抜いてください。

電子治療器を同時に使用した場合、ベッドの誤動作や故障の原因となるおそれがあります。

●コード（電源コード・手元スイッチ）に足を引っ掛けないようにしてください。

転倒してけがをしたり、プラグやコードが破損し、感電、故障、火災のおそれがあります。

●電源プラグを濡れた手で抜き差ししないでください。

感電注意

感電や故障のおそれがあります。

●電源プラグを持って抜いてください。

プラグを抜く

コードのみを持って引き抜くと、コードが傷んで感電するおそれがあります。

●タコ足配線は行わないでください。

コンセントや延長コードの容量を超えると、電源コードや電源プラグが発熱して発火するおそれがあります。

●手元スイッチを傷つけないでください。

手元スイッチを床に落としたり、踏んだりすると、破損するおそれがあります。

●お客様による修理や改造はしないでください。

分解禁止

故障や異常動作をし、けがをするおそれがあります。

●火気に近づけないでください。

火災や変形の原因となります。

●定期点検をしてください。

安全にご使用いただくために、定期点検を行ってください。（20 ページ参照）

⚠ 注 意

●上がっているボトムには乗らないでください。

変形、破損、故障の原因となります。

●ベッドの端に浅く座らないでください。

ずり落ちてけがをするおそれがあります。

●ヘッド・フットボードには必ずストッパーを掛けてください。

ボードの取り付けが不完全な場合、つかまったときに不意にはずれて転倒し、けがをするおそれがあります。

●操作時は周囲を確認してください。

操作によって周囲の物を破損するおそれがあります。また、ベッドを変形・破損させる原因となります。
周囲を確認してから操作を行ってください。

●長期間使わない場合は、電源プラグを抜いてください。

長期間、背上げ・高さ・膝上げ調節機能をご使用にならない場合は、誤動作などを防ぐために必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

●スプレータイプの殺虫剤や有機溶剤をベッドに直接噴射しないでください。

殺虫剤に含まれる溶剤や、シンナー・ベンジンなどの有機溶剤によって、ベッドが破損・変色・溶解するおそれがあります。また、破損・溶解した部分で思わぬけがをするおそれがあります。

③手元スイッチについて

警 告

・子供や幼児、操作が理解できないと思われる方(認知症の方など)が一人で手元スイッチに触れる可能性がある場合は、電源プラグを抜いて、誤操作による事故を未然に防いでください。
・手元スイッチに水などをこぼさないでください。 感電・事故・破損の原因となります。かかってしまった場合は、電源プラグをコンセントから抜いてお買い上げの販売店にご連絡ください。
・2 つ以上のボタンを同時に押さないでください。負荷がかかり、ベッドが停止するおそれがあります。
・モーターの連続使用時間は約 2 分までです。2 分以上の連続使用はしないでください。次に使用する場合は、18 分以上おいて使用してください。

●手元スイッチを操作する事で、3 モーターはベッドの高さ調節・背ボトムの角度調節・膝上げ、2 モーターはベッドの高さ調節・背ボトムの角度調節、1 モーターは背ボトムの角度調節ができます。
ボタンを押すと動き、ボタンを離すとその位置で止まります。

・操作をする前に、電源プラグをコンセントに差し込んでください。

たかさボタン
ベッドの高さが調節できます。

せボタン
背ボトムの角度調節ができます。

あしボタン
膝上げの角度調節ができます。

2 モーター　3 モーター　1 モーター

注意

・手元スイッチを使用しない時は、スイッチ面を外側にしてサイドレールなどに掛けてください。
・手元スイッチを押しても動かない時は、取扱説明書の故障かな？と思ったら(32 ページ)を参照してください。

④ベッドの使用方法・動作方法

●ベッドの高さ調節や背ボトム、膝上げの角度調節ができます。
●手元スイッチのボタンを押すと動き、ボタンを離すとその位置で止まります。

たかさ　高さ調節　垂直昇降　低床 29.5cm　3 モーター　2 モーター

・かかとを床に着けた端座位がとれ、立ち上がりしやすい高さに調節ができます。
・車椅子やポータブルトイレなどの座面の高さにベッドの高さを合わせると、移乗がしやすくなります。
・ベッドの高さを上げることで、介護者の方が楽な姿勢で介護ができます。
・垂直に昇降するので、余分なスペースを取らず、スッキリとベッドを設置できます。

ベッドの高さが調節できます。
床からボトム面までの高さを、29.5cm～61.5cm まで調節ができます。

せ　背上げ　3 モーター　2 モーター　1 モーター

・ベッドからの起き上がりをサポートします。
・背上げが始まると、背ボトムが後方にスライド。おなかの圧迫感を軽減します。

水平から約 70°

背ボトムの角度は、水平から約 70°まで無段階に調節ができます。

せ　背上げ膝上げ連動　2 モーター　1 モーター

・ベッドからの起き上がりをサポートします。
・背上げが始まると膝が連動して上がり、身体のずり落ちを防ぎます。 また、背ボトムは後方にスライドしながら上がるので、おなかや背中の圧迫感を軽減します。

水平から約 70°

水平から約 22°

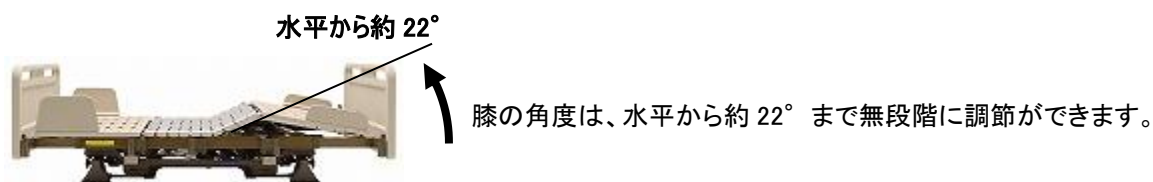
・背ボトムの角度は、水平から約 70°まで無段階に調節ができます。
・膝上げは約 22°まで上がります。

背ボトムの角度が約 45°を越えると膝が下がり始め、背ボトムが約 70°まで上がると、膝は平らになります。 それにより端座位がとりやすくなっています。

連動の切替設定をする事で、背上げ膝上げ連動を解除し、背上げのみを行うことができます。（11 ページ参照）
※膝上げのみはできません。

④ベッドの使用方法・動作方法

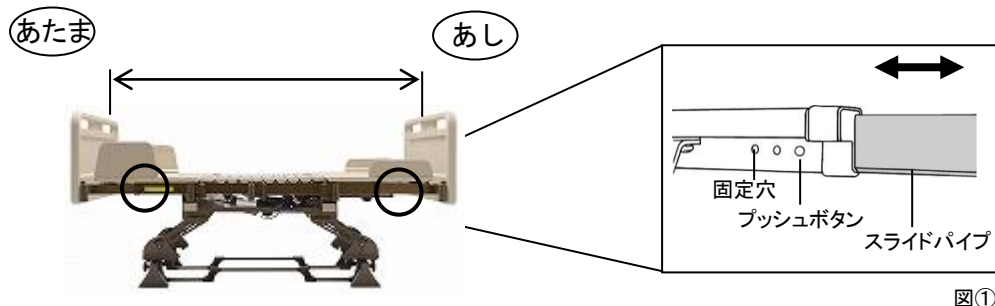
あし **膝上げ** 3 モーター

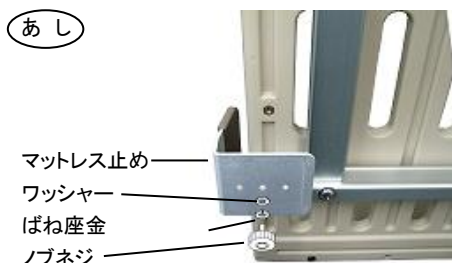
膝の角度は、水平から約 22°まで無段階に調節ができます。

・ご使用者の体格や設置場所のスペース、マットレスの長さに応じて、ヘッド・フットボードの位置を、各5cm、最大10cm 調節ができます。（2.5cm 刻み）

※ヘッド・フッドボードの位置調節をする場合は、ヘッド・フットボードを取り外してから、調節をしてください。

1.調節をする方のボードを取り外してください。

2.スライドパイプ内側にあるプッシュボタンを押しながら、スライドパイプを前後に調節し、固定孔にプッシュボタンを合わせてください。（図①）

※向き合うスライドパイプを同じ長さに調節してください。（頭側 2 ヶ所・足側 2 ヶ所）

図①

3 足側ボード位置調節に応じて、マットレス止めの調節をしてください。マットレス止めは足側に付いており、2.5cm3 段階の調節ができます。 また、マットレスの長さに応じて、マットレス止めを取り外して使用することができます。

①足ボトムの裏側からノブネジをゆるめて取り外してください。
②マットレス止めを調節してください。
③ばね座金、ワッシャーを通したノブネジを締め、
　マットレス止めを固定してください。

※2 ヶ所のマットレス止めの長さを合わせてください。

4.外したボードを取り付けてください。

注意

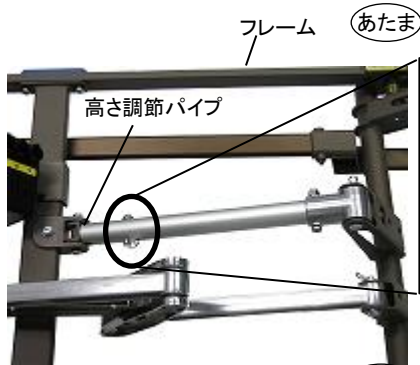
・ヘッド・フッドボードがまっすぐかどうか確認してください。
・プッシュボタンが、固定孔にしっかりと入っているか確認してください。

④ベッドの使用方法・動作方法 1 モーター

低床 29cm

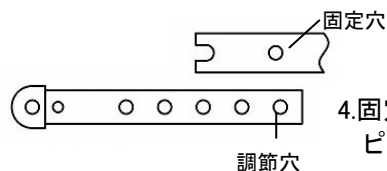
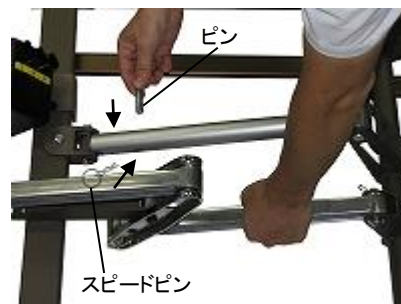
■高さ調節方法

床からボトム面までの高さを、29、34.9、40.8、46.7、52.6cm の 5 段階調節(5.9cm 刻み)ができます。(出荷時 29cm)

・作業はベッドをベースフレームの状態まで分解してから行ってください。(27～30 ページ参照)
・手や指などが挟まれないように注意してください。

1.高さ調節パイプのピンについているスピードピンを抜いてください。

2.連結バーを支えながらピンを抜いてください。

・ベッドの高さが上がっている場合、高さ調節ピンを抜くとベッドが下がるので、連結バーをしっかりと支えてください。けがをするおそれがあります。

3.連結バーをスライドさせ、使用する高さに調節してください。
一番高くする際は、連結バーとフレームを持ち上げると、高さがあげやすくなります。

4.固定穴と調節穴を合わせてピンを差し込み、スピードピンを差し込んでください。

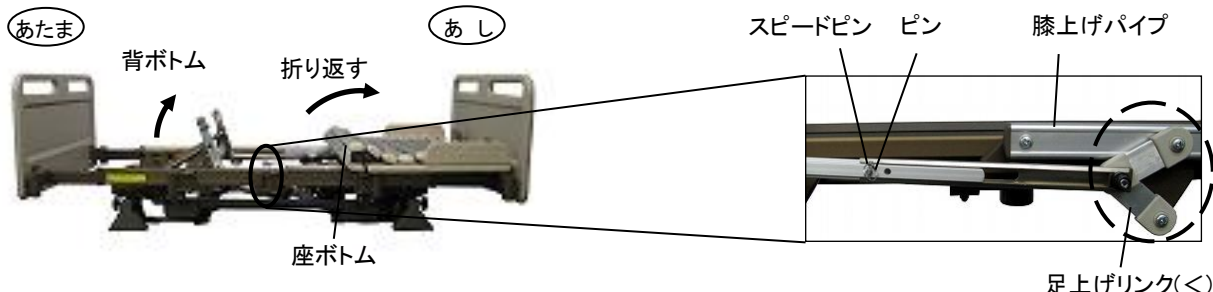
※スピードピンの使い方

左図のように、ピンに確実に差し込んでください。

⑤背上げ膝上げ連動／解除の仕方 2 モーター 1 モーター

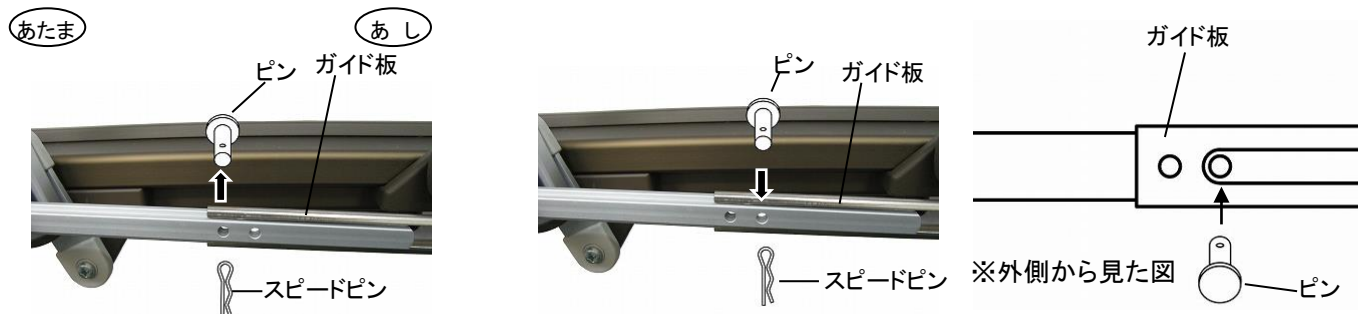
●背上げ膝上げ連動／背上げのみを切替ることができます。（膝上げのみはできません。）
●切替は座ボトムの下側で行います。

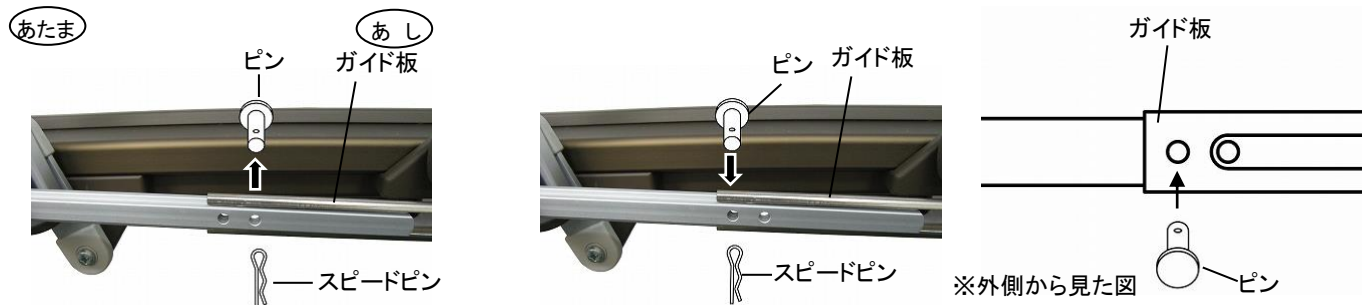
注意

- **切替操作は、完全に背上げをした状態で、足上げリンクが頭側に　<　の形になっている事を確認してから行ってください。**
- **切替操作は、ベッドのみの状態で行ってください。**
- **切替操作は左右に各1ヶ所、合計 2 ヶ所行ってください。必ず 2 ヶ所同じ位置にピンを差し込んでください。**

①**完全に背上げをしてください。**
②背ボトムのスピードピン(大)を抜き、ピン(大)を抜いてください。(28 ページ参照)
③座ボトムの頭側のフックを本体から取り外します。（29 ページ参照）
④座ボトムを足側に折り返してください。

注意

- **足上げリンクが頭側に　<　の形になっている事を確認してください。**
  連動解除の状態で、足上げリンクが頭側に　<　の形になっていない時は、膝上げパイプを持ち上げて足上げリンクを頭側に　<　の形にしてください。
- **折り返した座ボトムを上から押さないでください。破損するおそれがあります。**

連動（出荷時）→連動解除

⑤スピードピンを抜き、ピンを抜いてください。　⑥足側の穴に外側からピンを差し込み、スピードピンを差し込んでください。

連動解除→連動

⑤スピードピンを抜き、ピンを抜いてください。⑥頭側の穴に外側からピンを差し込み、スピードピンを差し込んでください。

注意

- **左右 2 ヶ所とも同じ位置にピンとスピードピンが差し込まれていることを確認してください。**
- **切替操作後は座ボトムと背ボトムを取り付けてください。(17～18 ページ参照)**

⑥開梱と部品の確認

■開梱後、下記の部品がすべて揃っているか、また、破損していないか確認してください。 万一不足している部品や、破損している部品がある場合は、お買い上げの販売店、または弊社までご連絡ください。

☑ 確認してください。

※サイズは梱包サイズ。(　)内の数字は、梱包材を含めた質量です。

開①ベースフレーム

137.5 X 84.5 X 29cm

約 23.3kg(27.7kg) 3 モーター 2 モーター

約 21.5kg (25.9kg) 1 モーター

開②可動部フレーム

158.5 X 91 X 20cm

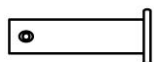
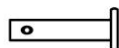
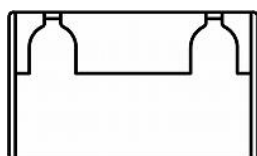
約 20.4kg (25.3kg) 3 モーター

141 X 91 X 20cm

約 16.4kg (21.2kg) 2 モーター 1 モーター

開③背・足ボトム、サイドレール、付属品一式-1

98.5 X 62.5 X 34.5cm

約 22kg (26.8kg)

⑦ベッドの設置場所について

ベッドを設置する際は、下記の条件を考慮してください。

●ベッド周辺のスペースを確保してください。

・ご使用者が起き上がる場合、ベッドの左右どちら側から乗り降りがしやすいか。

・車椅子やポータブルトイレなどを使用する場合、左右どちら側から移乗がしやすいか。

・介護スペースが十分取れているか。

●水平で荷重に耐えられる床を選んでください。

・ベッドの質量は、3 モーターで約 75.9kg、2 モーターで約 71.8kg、1 モーターで約 70kg です。 こちらに、ご使用者の体重、寝具、オプション品などを含めた全重量が、床にかかる荷重となります。 この荷重に十分耐えられる、水平な床を選んでください。

●電源プラグの抜き差しがしやすい場所に設置してください。

・誤操作を防ぐ為に、電源プラグを抜くことが必要な場合があります。

※電源コードの長さは約 3mです。

●故障の原因となりますので、次のような場所での設置はしないでください。

・直射日光のあたる場所

・冷暖房器の風が直接当たる場所

・ストーブなど火気の近く

・高温多湿、低温な場所

・風通しの悪い場所

・振動や衝撃のある場所

●ベッドの電源は、直接コンセントからとってください。

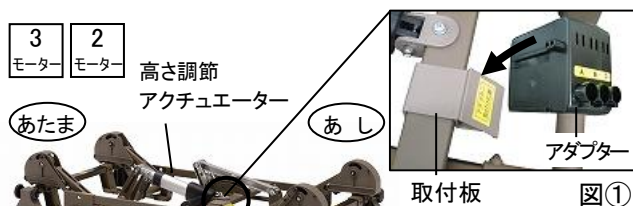
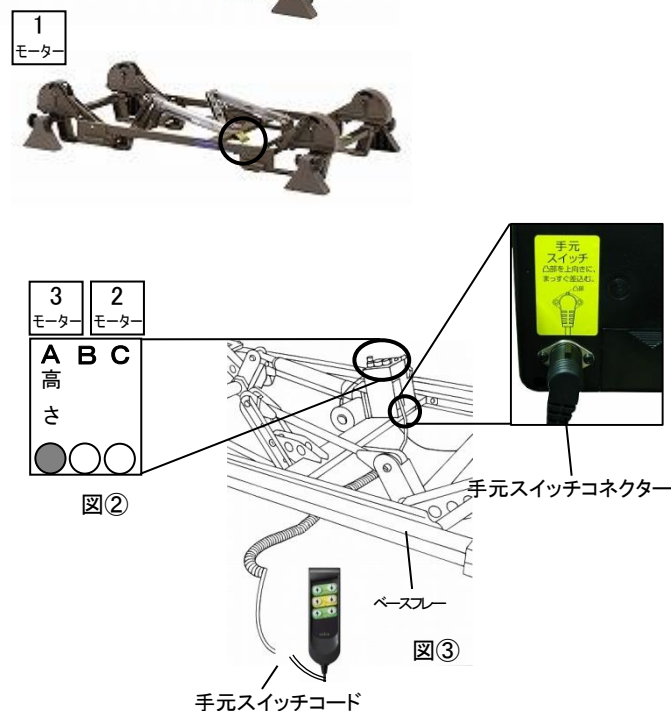
・延長コードやコンセントの容量を超えて他の機器と併用すると、発熱・発火するおそれがあります。

●ベッド周辺にご注意ください。

・ベッドの可動範囲で、周辺の家具や部屋の構造物などに当たらないように気をつけてください。

注意 **・電源プラグとベッドが接触しないように、壁から 5cm(プラグアダプター使用時は 2cm)以上離してください。**

⑧ベッドの組立て方法

1.アダプター・手元スイッチの取り付け

①ベースフレームにある取付板にアダプターの溝を合わせ、アダプターをスライドさせて取り付けてください。

②3・2 モーターは、高さ調節アクチュエーターのコネクターAをアダプターのAに差し込んでください。（図②）

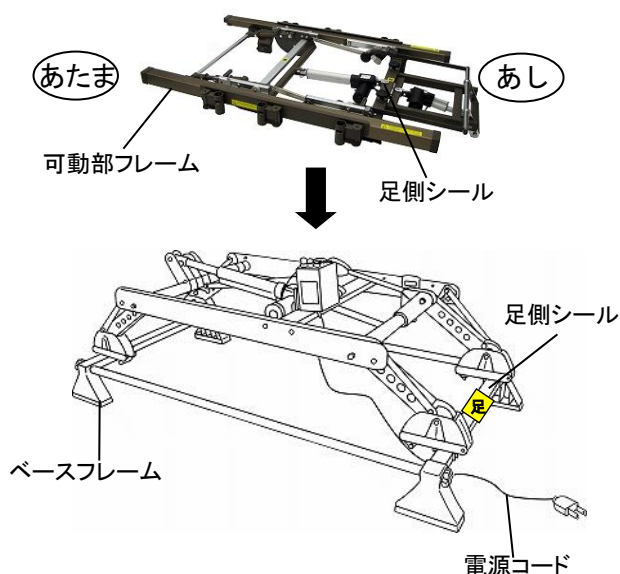
③手元スイッチのコネクターをアダプターの側面にしっかりと差し込んでください。（図③）

注意

・手元スイッチコードは、必ずベースフレームの下側を通して、アダプターに差し込んでください。（図③）

※1 モーターは使用する高さを確認し、必要に応じて高さ調節をしてください。（10 ページ参照）

2.可動部フレームの取り付け

※3 モーターと 2 モーターは最初にベースフレームの高さを上げてください。1 モーターは設定した高さのまま、組み立ててください。

①3 モーター、2 モーターは、電源プラグをコンセントに差し込み、手元スイッチで最高高さまで上げてください。

※付属のプラグアダプターを使用すると、コンセントからの出っ張りを軽減できます。

②電源プラグをコンセントから抜いてください。

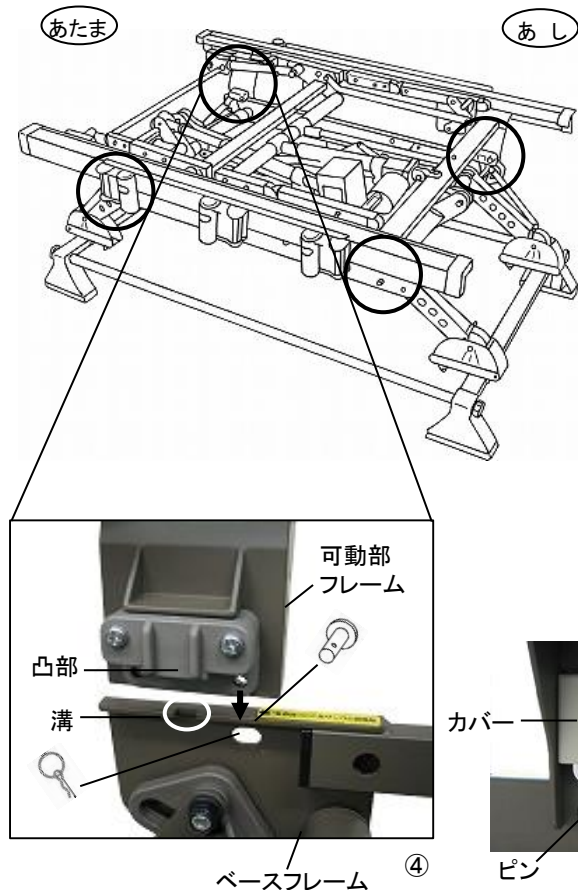
警告

・電源コードは、必ずベースフレームの下側を通し、可動部で挟まれないようにしてください。また、脚部で電源コードが踏まれないようにしてください。

③ベースフレームに可動部フレームをのせてください。

注意

ベースフレームと可動部フレームの、足側シールの向きを合わせてください。

⑧ベッドの組立て方法

④ベースフレームの溝に、可動部フレームの凸部を合わせ、外側から内側の穴にピン（小）を差し込み、スピードピン（小）を差し込んでください。（4ヶ所）

可動部フレームをココに載せる。

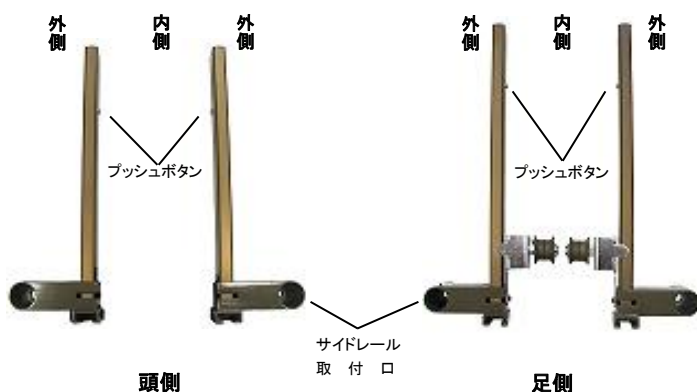
⑤外側からカバーの溝を可動部フレームに合わせ、カバーを下にスライドさせてください。（4 ヶ所）

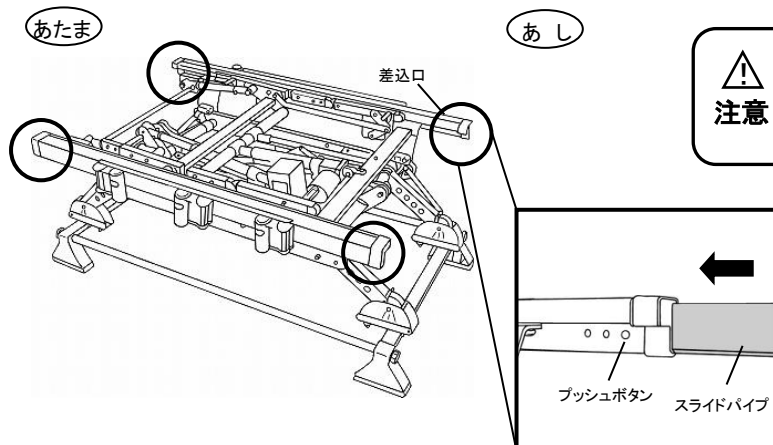
⚠ 注意	・カバーがしっかりとかかっているか確認してください。

※スピードピンの使い方

左図のように、ピンに確実に差し込んでください。

3.スライドパイプ（頭側・足側）の取り付け

⚠ **スライドパイプには、頭側・足側があります。**

①スライドパイプを差込口に合わせ、プッシュボタンを押しながら差し込んでください。頭側と足側の 4 ヶ所に取り付けてください。

②スライドパイプは、頭側、足側ともに0・2.5・5cm、の前後調節（計10cm）ができます。ご使用者の体格に合わせて調節してください（9 ページ参照）

⚠ 注意	・スライドパイプは、ヘッド・フットボードがまっすぐになるように、同じ長さに調節してください。 ・プッシュボタンがしっかりとはまり、スライドパイプが抜けないことを確認してください。

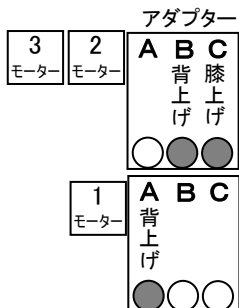
⑧ベッドの組立て方法

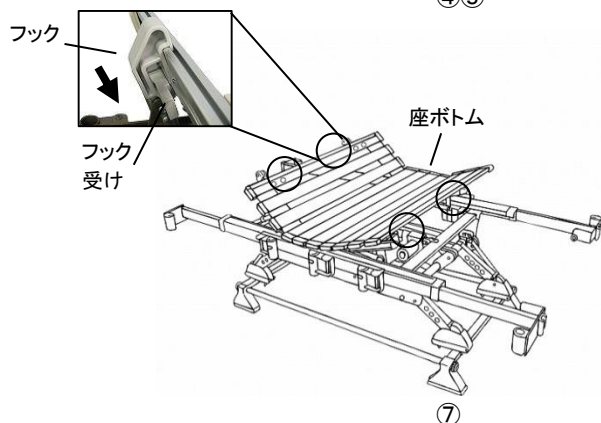
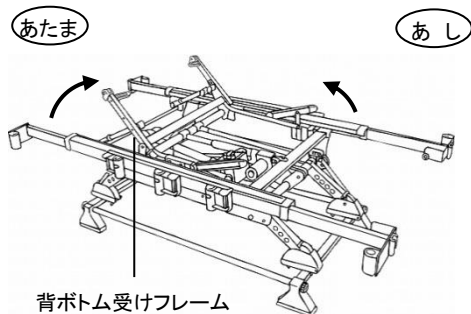
4.座ボトムの取り付け

■背上げ、膝上げコネクターの配線

①3 モーターと 2 モーターは背上げアクチュエーターのコネクターBをアダプターのBに、1 モーターは背上げアクチュエーターのコネクターA をアダプターの A に差し込んでください。

3 モーターは膝上げアクチュエーターのコネクターC もアダプターの C に差し込んでください。

②アダプターの凸部にカバーの溝を合わせ、A～C のコードを寄せて、カバーを押して取り付けてください。

※作業をしやすくするために、背ボトム受けフレームを上げてください。3 モーターは膝上げもしてください。

④⑤

③電源プラグをコンセントに差し込んでください。

④手元スイッチで約 45° 背上げをしてください。

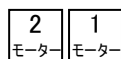
⑤3 モーターは、手元スイッチで最大まで膝上げをしてください。

⑥電源プラグをコンセントから抜いてください。

⑦

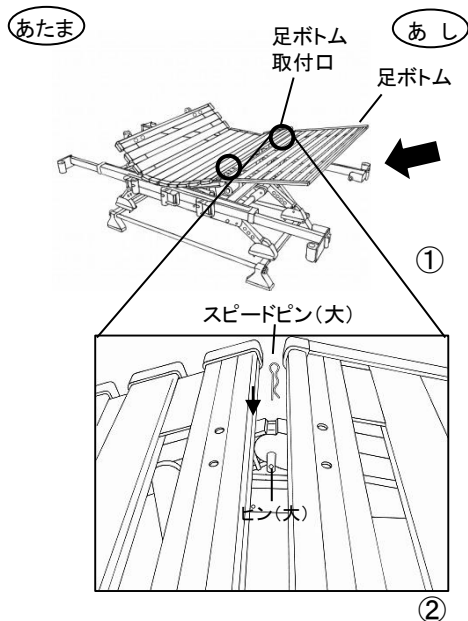
⑦座ボトムのフックをフック受けに引っ掛けます。（頭側、足側の 4 ヶ所）

⑧座ボトム裏の突起がフレームの内側に納まるように、座ボトムの位置を調整してください。

⑧

2 モーター 1 モーター

⚠ 注意	**2 モーター・1 モーターで、『背上げ膝上げ連動』/『背上げのみ（解除）』の設定をする場合は、頭側のフックは引っ掛けないでください。**

⑧ベッドの組立て方法

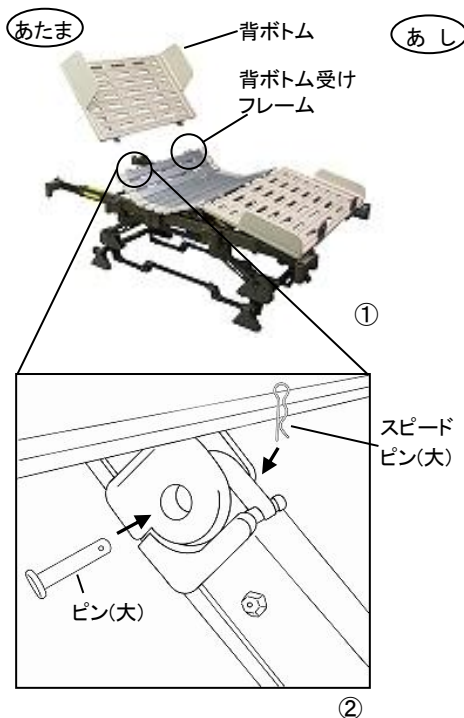
5.足ボトムの取り付け

①足ボトム取付口に足ボトムをしっかりと差し込んでください。

②足ボトム取付穴に外側からピン(大)を差し込み、スピードピン（大）を差し込んでください。（計 2 ヶ所）

※スピードピンの使い方

左図のように、ピンに確実に差し込んでください。

※2 モーター・1 モーターは、使用状況に合わせて『背上げ膝上げ連動』か『背上げのみ（連動解除）』に設定してください。（11 ページ参照） 設定後、座ボトムの頭側のフックを引っ掛けてください。

6.背ボトムの取り付け

①背ボトムを背ボトム受けフレームに差し込んでください。

②背ボトムと背ボトム受けフレームの取り付け穴を合わせ、外側からピン（大）を差し込み、スピードピン（大）を差し込んでください。（側面各 1 ヶ所）

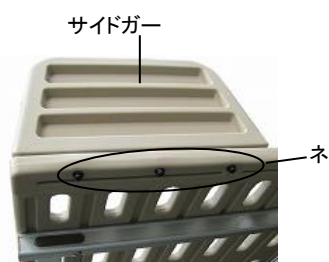
※スピードピンの使い方

左図のように、ピンに確実に差し込んでください。

警告	**・上がった背ボトムを足側に押さないでください。 背ボトムが足側に倒れ、けがをしたり故障するおそれがあります。**

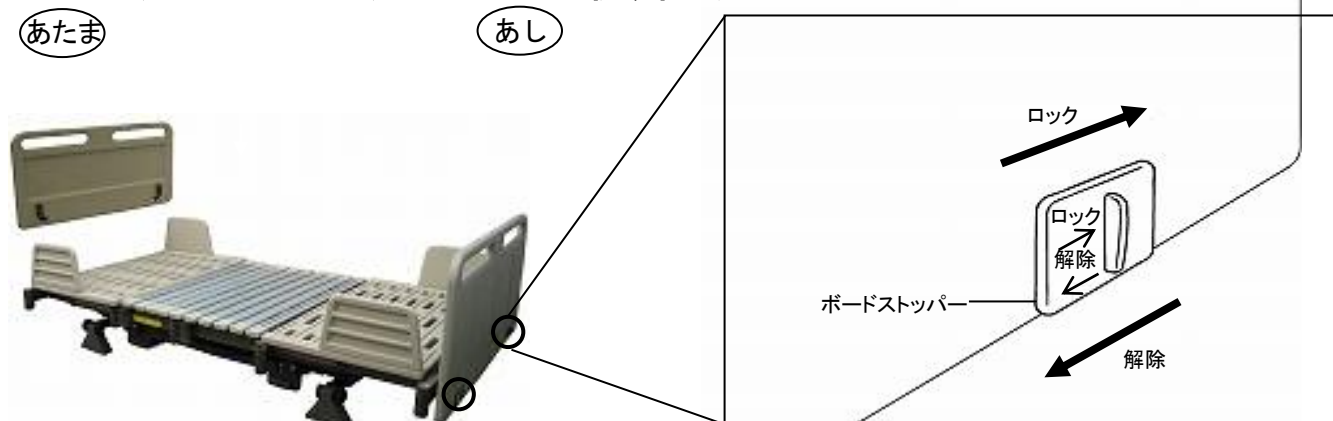
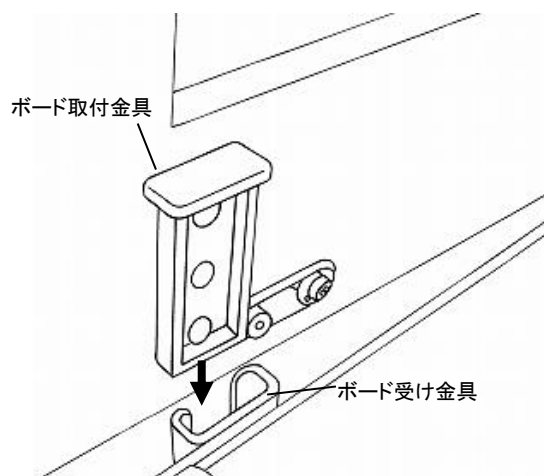
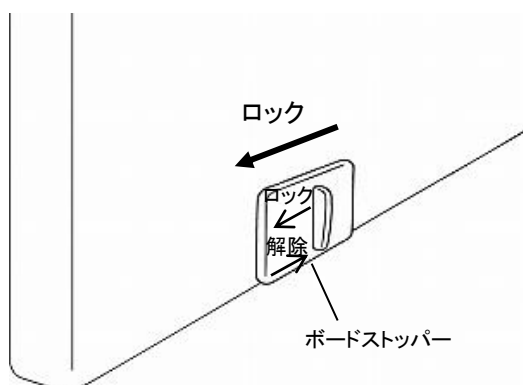
③必要に応じて、サイドガードを取り外して使用することができます。

④電源プラグをコンセントに差し込んでください。

⑤手元スイッチで背ボトムを一番下までさげ、電源プラグをコンセントから抜いてください。

※頭側と足側のサイドガードは、取り外しができます。

・ネジを外し(3 ヶ所)、サイドガードを取り外してください。

⑧ベッドの組立て方法

7.ヘッドボード・フットボードの取り付け

①.ヘッド・フットボードのボードストッパーが**内側**にスライドしている（解除）のを確認してください。
（ヘッド・フッドボード各 2 ケ所）

②.ボード受け金具にボード取付金具を差し込んでください。（ヘッド・フットボード各 2 ヶ所）

③.ボードストッパーを外側にスライドさせ(ロック)、ヘッドボードとフットボードを固定してください。
（ヘッド・フットボード各 2 ヶ所）

警告

- **・事故・破損の原因となりますので、ヘッド・フットボードはしっかり最後まで差し込んでください。**
- **・ヘッド・フットボードは、かならずボードストッパーで固定してください。**
- **・ヘッド・フットボードの位置調節をする場合は、ヘッド・フットボードを取り外してから、調節をしてください。（9 ページ参照）**

⑨ベッドの組立て後の点検

●ベッドの組立て後、このチェックシートで点検をしてください。 チェックがつかない項目は参照先を確認し、必ずすべての項目にチェックが入るようにしてください。
●日常のご使用の際にも、こちらでベッドを点検してください。

警告

・組立て後の点検は、必ず行ってください。 点検を怠って使用すると、事故や故障の原因となるおそれがあります。
・手元スイッチで操作しながら点検をしている際に、異音や振動が生じた場合はすぐにベッドの使用を中止し、弊社、もしくはお買い上げの販売店にご連絡ください。

	点検項目	参照先	チェック欄
1	**アダプター・手元スイッチの取り付け** アダプターがはまり、アクチュエーター(3 モーターは背上げ・高さ・膝上げ、2 モーターは背上げ・高さ、1 モーターは背上げ)、手元スイッチのコネクターがしっかりと差し込まれていますか？ また、アダプターカバーは取り付けられていますか？	15・17ページ	
2	**手元スイッチコードの確認** 手元スイッチコードがベースフレームの下側を通り、可動部にはさまれたり、踏まれていませんか？	15ページ	
3	**電源コードの確認** 電源コードがベースフレームの下側を通り、はさまれたり、踏まれていませんか？	15ページ	
4	**高さ調節の確認** 1モーター 高さ調節パイプの固定穴にピンとスピードピンが確実に差し込まれていますか？	10ページ	
5	**可動部フレームの取り付け** 1.ベースフレームと可動部フレームの向きは合っていますか？	15ページ	
	2.可動部フレームは、ベースフレームに確実に乗り、ピン（小）とスピードピン(小)が確実に差し込まれ、カバーがされていますか？（4 ヶ所）	16ページ	
6	**スライドパイプの取り付け** 1.スライドパイプの向き（頭側・足側）(内側・外側)は合っていますか？	16ページ	
	2.スライドパイプは、頭側・足側にプッシュボタンでしっかりと差し込まれていますか？（頭側・足側左右各 1 ヶ所）		
	3.スライドパイプは、左右同じ取り付け位置になっていますか？		
7	**座ボトムの取り付け** 座ボトムは、フック受けにフックが確実に引っ掛けられていますか？(4 ヶ所)	17ページ	
8	**足ボトムの取り付け** 足ボトムは、足ボトム取付口に差し込まれ、ピン（大）とスピードピン（大）が確実に差し込まれていますか？(2 ヶ所)	18ページ	
9	**背上げ膝上げ連動/解除** 1.足上げリンクが頭側にくの形になっていますか？(連動は完全に背上げをした時)	11ページ	
	2.ガイド板にピンとスピードピンが確実に差し込まれていますか？(2 ヶ所)		
10	**背ボトムの取り付け** 背ボトムは、背ボトム受けフレームに差し込まれ、ピン（大）とスピードピン（大）が確実に差し込まれていますか？（2 ヶ所）	18ページ	
11	**ヘッドボード・フットボードの取り付け** ヘッドボード・フットボードは、ボード受け金具に差し込まれ、ロックが確実にされていますか？（各 2 ヶ所）	19ページ	
12	**操作の確認** 手元スイッチのボタンを押すと、各動作がスムーズに作動しますか？（3 モーターは背上げ・高さ・膝上げ、2 モーターは背上げ・高さ、1 モーターは背上げ） また、異音はありませんか？	8・9ページ	

⑩マットレスの使用方法とご注意

⚠ 警告	・このベッドには、必ず弊社製品のマットレスをご使用ください。 ・弊社以外のマットレスはベッドに負担をかけ、故障の原因となることがあります。 また、サイドレールやベッド用グリップとのあいだに挟まれてけがをするおそれがあります。 ・マットレス上面からサイドレール上端までの高さは、22cm 以上確保してください。寝返りや体位変換時に転落するおそれがあります。

●あらえ～る 14 マットレス
品番：BB-2006
寸法：（幅）87x（長）186x（厚）6cm
重量：約 7kg
特長
・マットレスが簡単に丸洗いでき、いつでも清潔にお使いいただけます。
・詰め物にはあたまとあし側の区別がなく、定期的に入れ替えてご使用いただけます。

●すこやか 14 マットレス
品番：BB-2003
寸法：（幅）90x（長）190x（厚）8cm
重量：約 4.6kg
特長
・均等に体圧を分散します。
・詰め物には表と裏、あたまとあし側の区別がなく、定期的に入れ替えてご使用いただけます。

●コーズマットレス
品番：BB-2004
寸法：（幅）90x（長）190x（厚）8cm
重量：約 5.4kg
特長
・スラット構造が体圧を分散し、290 個の通気孔と共にムレを軽減します。
・側面から 12cm に高硬度ウレタンフォームを使用し、端座位を取りやすくしています。
・詰め物にはあたまとあし側の区別がなく、定期的に入れ替えてご使用いただけます。

●ベンズマットレス
品番：BB-2005
寸法：（幅）90x（長）190x（厚）8cm
重量：約 6.2kg
特長
・スラット構造が体圧を分散し、290 個の通気孔と共にムレを軽減します。
・側面から 12cm に高硬度ウレタンフォームを使用し、端座位を取りやすくしています。
・側地（上面）はダイヤモンドキューブ模様の優しい肌触りで、通気性を持たせています。
・詰め物にはあたまとあし側の区別がなく、定期的に入れ替えてご使用いただけます。

※詳しくはマットレスの取扱説明書をご覧ください。

⚠ 注意	●すこやか 14、コーズ、ベンズマットレスを使用する際は、ボード位置とマットレス止めの調節を下記のいずれかに調節してください。調節の仕方はボード位置調節を参照してください。(9 ページ) ・頭側スライドパイプを 2 段階伸ばす。 ・足側スライドパイプとマットレス止めを 2 段階伸ばす。 ・頭側、足側スライドパイプ、マットレ止めを 1 段階伸ばす。 ・マットレス止めを取り外す。

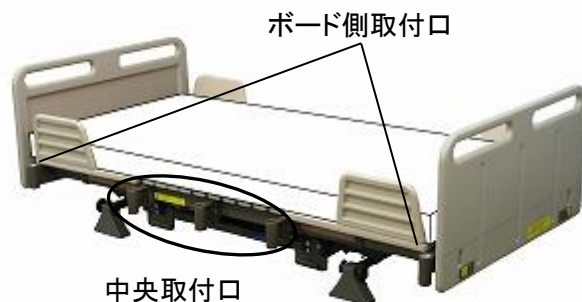
⑪オプションの取り付け

1.サイドレールの取り付け

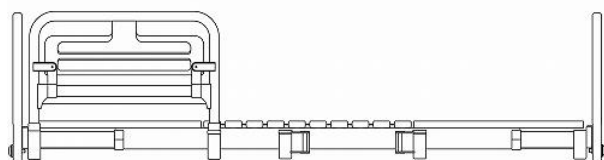
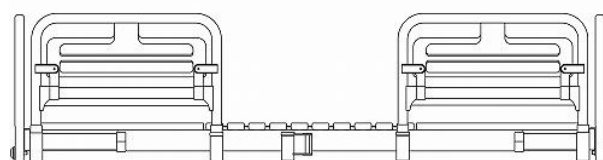
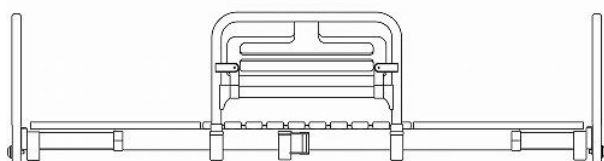
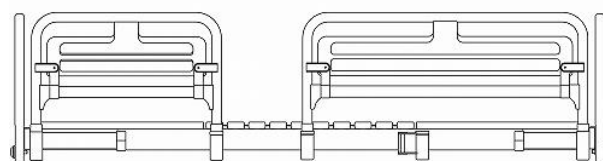
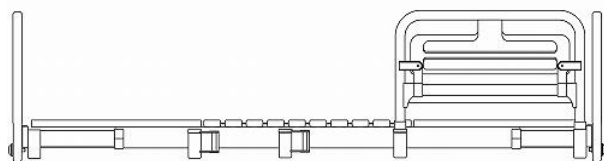
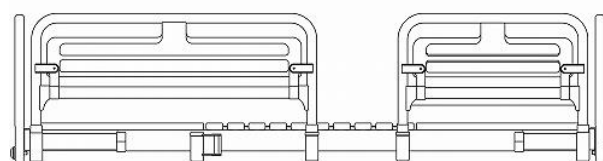
●ベッド両サイドの取付口を利用し、サイドレールが使用できます。

警告

・サイドレールのすきま、ヘッド・フットボードとサイドレールとのすきま、ベッドとサイドレールとのすきまに、頭、首、腕や足が入らないように注意してください。すきまに入ると抜けなくなり、けがをするおそれがあります。
・必ず弊社製品のサイドレール（BB−2101〜BB−2104）をお使いください。他社の製品は寸法などが適合しないだけでなく、ベッドに負担をかけ、故障の原因となります。
・サイドレールを中央に取り付けないでください。必ず頭側、足側に取り付けてください。

※サイドレールの取扱説明書を必ずお読みください。仕様変更等により、この取扱説明書の記述と異なる場合があります。ご不明な点はお買い上げの販売店、または弊社までお問い合わせください。

※中央取付口は、使用しない時にはベッド本体内に収納ができますので、じゃまになりません。（6ヶ所）

■サイドレール組み合わせ

あたま　　あし

・BB−2101・BB−2102
・BB−2103・BB−2104

・BB−2101――――BB−2101
・BB−2103――――BB−2103

・BB−2101・BB−2103

・BB−2101――――BB−2102
・BB−2103――――BB−2104

・BB−2101・BB−2102
・BB−2103・BB−2104

・BB−2101――――BB−2102
・BB−2103――――BB−2104

注意

・BB−2102 と BB−2104 は、ベッド片側にどちらか 1 つしか取り付けができません。

⑪オプションの取り付け

2.ベッド用グリップ(てだすけバー)の取り付け

●ベッド両サイドの取付口を利用し、ベッド用グリップ(てだすけバー)を使用できます。

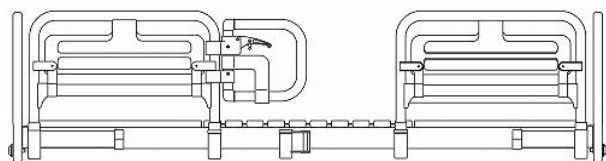
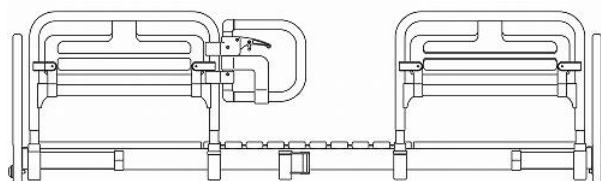
警告

- ・てだすけバーやサイドレールのすきま、ヘッド・フットボードとてだすけバーとのすきま、ベッドとてだすけバーとのすきまに、頭、首、腕や足が入らないように注意してください。すきまに入ると抜けなくなり、けがをするおそれがあります。
- ・必ず弊社製品のベッド用グリップ(てだすけバー)(BB−2152)をお使いください。他社の製品は寸法などが適合しないだけでなく、ベッドに負担をかけ、故障の原因となります。
- ・てだすけバーを中央に取り付けないでください。

※中央の取付口は、使用しない時にはベッド本体内に収納ができますので、じゃまになりません。(6ヶ所)

※ベッドから転落するおそれがある場合は、てだすけバーにサイドレールを併用してご使用ください。

※サイドレール BB2102、BB2104 とは併用ができません。

■ベッド用グリップとサイドレールの組み合わせ

・BB−2152――――BB−2101

・BB−2153――――BB−2103

⚠注意

- ・てだすけバーは、ノブネジでしっかりと締めてください。
- ・グリップをベッド内側に向けて固定しないでください。グリップとベッドの間にはさまれてけがをしたり、グリップやベッドが変形、破損するおそれがあります。
- ・調節後は、グリップが回らないか確認してください。固定されていないと、破損や転倒、けがをするおそれがあります。

⑪オプションの取り付け

3.キャスターの取り付け

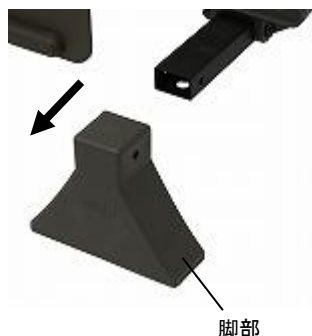
注意

- ・本製品に取り付けられるキャスターは、BB-2210　です。
- ・キャスターは、4ヶ所すべてに取り付けてください。
- ・1ヶ所ずつ交換してください。
- ・キャスターを取り付けると、ベッドの高さが 3.5cm 高くなります。 また、3.5kg 重くなります。
- ・外した脚部はなくさないように保管してください。

●部品の確認

キャスター(4 個)	ナットガイド(4 個)	キャスターガイド(4 個)	ばね座金(4 個)	六角ナット(4 個)

●取り付け

①脚部のノブナットをゆるめて外し、ノブボルトを抜いてください。

②脚部を取り外してください。

③六角ナットを入れたナットガイドをベースフレームに差し込み、さらに穴位置を合わせてキャスターガイドを差し込んでください。

④ロックしたキャスターの軸にばね座金入れ、21mm の薄口スパナを使用してしっかりと締めてください。(4 ヶ所)

警告

- ・キャスターがしっかりと取り付けられているか確認してください。取り付けが不十分だとキャスターが抜け、けがをするおそれがあります。
- ・ベッドを移動させる時以外は、4 ヶ所すべてのキャスターをかならずロックしてご使用ください

注意

- ・キャスターをロックした状態で、無理にベッドを動かさないでください。無理に動かすと、キャスターが故障するおそれがあります。
- ・たたみやじゅうたんなどの上で使用する時は、市販の保護シートなどを敷いてください。たたみやじゅうたんなどがへこむおそれがあります。

⑫停電･故障時の手動による背下げ操作

■停電時や故障により背ボトムが下げられなくなった場合、手動で背ボトムを下げることができます。
32 ページの「故障かな？と思ったら」に従って確認し、ベッドが故障している場合には、お買い上げの販売店、もしくは弊社までご連絡ください。

⚠ 注意	･作業は必ず 2 人以上で行ってください。 ･背上げアクチュエーター（B）の取り付けピンが抜きにくい時は、ペンチを使用してください。

アダプター

①コンセントからベッドの電源プラグを抜いてください。
②ご使用者と寝具をベッドから降ろしてください。
③ヘッドボードを取り外してください。（27 ページ参照）
④背ボトムを取り外してください。（28 ページ参照）
⑤座ボトムの**頭側**のフックを外し（29 ページ参照）、背上げアクチュエーター（B）が見えるように、座ボトムを足側にめくってください。

⑥アダプターを上にスライドし、取り外してください。（30 ページ参照）

背上げアクチュエーター(B)

⑦背上げアクチュエーター（B）が落下しないように支え、スピードピンを抜き、ピンを抜いてください。
⑧背上げアクチュエーター（B）を頭側に押し、外してください。

※2 モーター、1 モーターで背上げ膝上げ連動に設定し、膝ボトムが上がっている場合は、落ちないように膝ボトムを支えながら背上げアクチュエーター（B）を取り外してください。

⚠ 注意	･背上げアクチュエーター（B）がフレームにドスンと落ちないようにしてください。

背ボトム受けフレーム

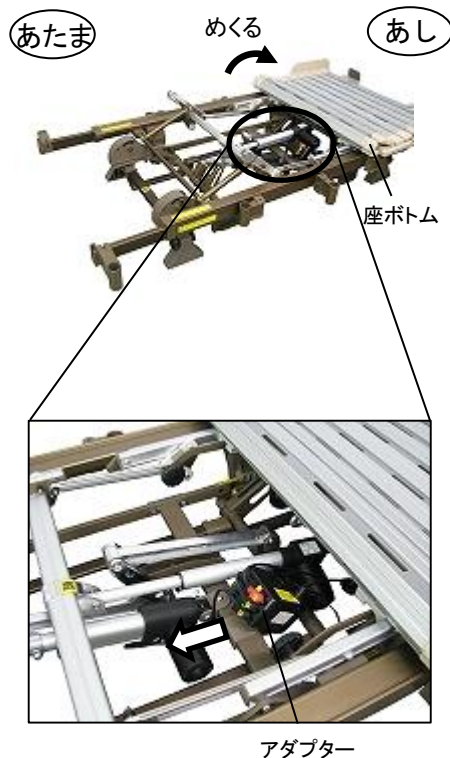
⑨背上げアクチュエーター（B）がフレームに干渉しないように注意しながら、背ボトム受けフレームをゆっくり押し下げてください。

※2 モーター、1 モーターで背上げ膝上げ連動に設定している場合は、膝ボトムを支えながら背上げアクチュエーター（B）を足側に引いてください。

⑩アダプターをスライドし、取り付けてください。（15 ページ参照）
⑪座ボトムの頭側のフックを取り付けてください。（17 ページ参照）
⑫背ボトムを取り付けてください。（18 ページ参照）
⑬ヘッドボードを取り付けてください。（19 ページ参照）

⚠ 注意	･外した背上げアクチュエーター（B）のピン（大）とスピードピン（大）は戻す際に使用します。紛失しないように保管してください。 ･この作業を行ったときは、もとの状態に戻すまで電源プラグはコンセントから抜いたままにしてください。

⑫停電・故障時の手動による背下げ操作－戻し方

⚠ 注意	・停電が復旧したら、以下の手順でベッドを元の状態に戻してください。 ・作業はかならず 2 人以上で行ってください。

①ご使用者と寝具をベッドから降ろしてください。
②ヘッドボードを取り外してください。(27 ページ参照)
③背ボトムを持ち上げてスピードピン(大)とピン(大)を抜き、背ボトムを取り外してください。(28 ページ参照)
④座ボトムの**頭側**のフックを外し(29 ページ参照)、背上げアクチュエーター（B）が見えるように、座ボトムを足側にめくってください。

⑤アダプターを上にスライドし、取り外してください。(30 ページ参照)

背上げアクチュエーター(B)

⑥背上げアクチュエーター（B）を頭側に押し、差し込口を合わせて、ピン(大)を差し込み、スピードピン(大)を取り付けてください。

※2 モーター、1 モーターで背上げ膝上げ連動に設定している場合は、背上げアクチュエーター（B）が引っかからないように注意しながら、手元スイッチで完全に背下げをし、背上げアクチュエーター（B）を取り付けてください。

背ボトム受けフレーム

⑦アダプターをスライドし、取り付けてください。(15 ページ参照)
⑧座ボトムの頭側のフックを取り付けてください。(17 ページ参照)
⑨背ボトムを取り付けてください。(18 ページ参照)
⑩ヘッドボードを取り付けてください。(19 ページ参照)

⚠ 注意	・作業終了後、20 ページの「ベッドの組立て後の点検」に従い、点検を行ってください。

⑬ベッドの分解方法

※ベッドの分解は、お買い上げの販売店に依頼することをお勧めします。

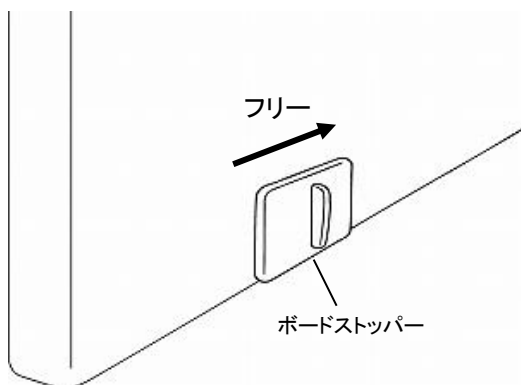
⚠ 注意	・キャスターをご使用の場合は、必ずキャスターのロックをかけてください。 ・ベースフレームのピンが抜きやすいように、高さを少し上げてください。 ・部品が落下してけがをしないように注意してください。 ・外したピン・スピードピンは紛失しないようにしてください。

1.オプション・寝具の取り外し

①ベッドのオプション（サイドレール、テーブルなど）をベッドから取り外してください。
②寝具、マットレスをベッドから降ろし、ベッド本体のみにしてください。

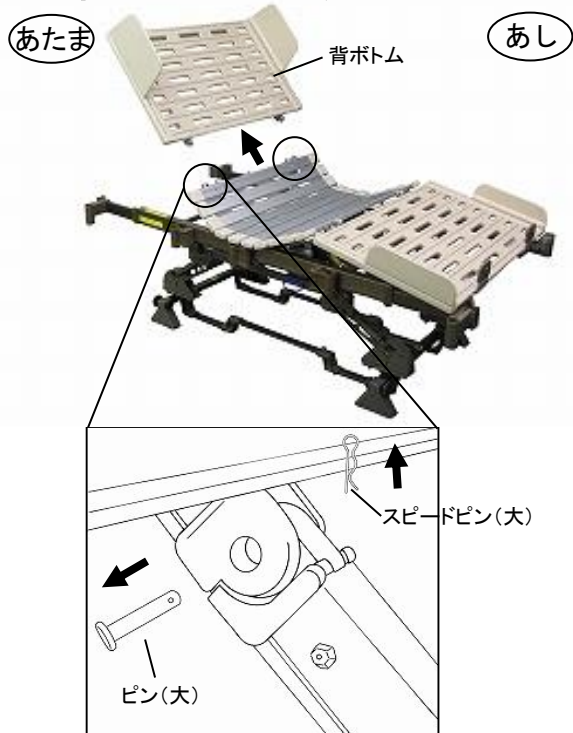
2.背上げ・ベッドの高さ確認

①電源プラグをコンセントに差し込んでください。
②手元スイッチを操作し、背ボトムを約 45°　上げてください。（背ボトムが抜きやすくなります。）
③3 モーター、2 モーターはベッドを最高高さまで上げてください。
④コンセントから電源プラグを抜いてください。

3.ヘッド・フットボードの取り外し

①.ヘッド・フットボードのボードストッパーを内側(フリー)にスライドさせてください。（ヘッド・フッドボード各 2 ケ所）

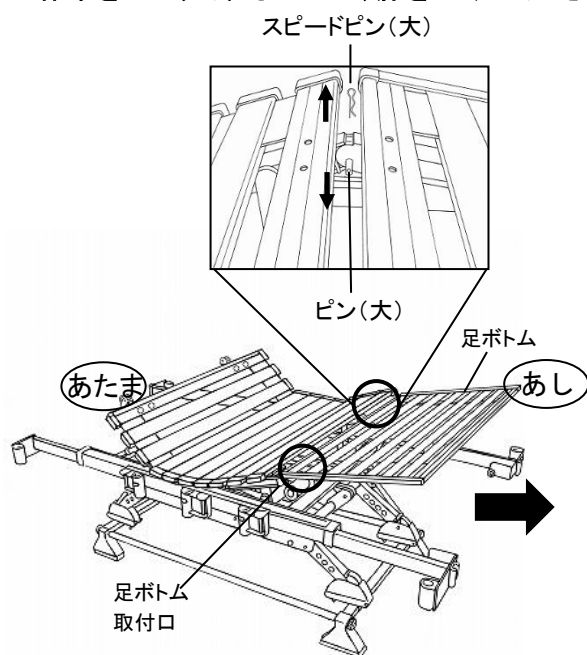
②ヘッド・フットボードを真上に持ち上げて取り外してください。

⑬ベッドの分解方法

4.背ボトムの取り外し

①スピードピン（大）を抜き、ピン（大）を抜いてください。
（計 2 ケ所）

②背ボトムを取り外してください。

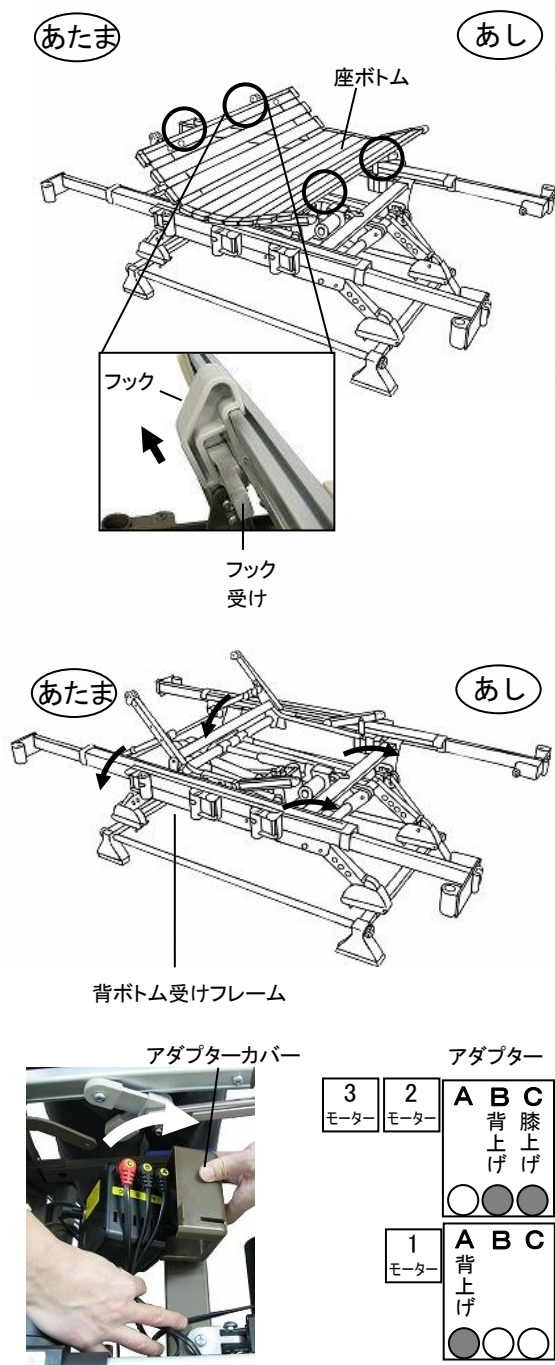
5.足ボトムの取り外し

※作業をしやすくするために、膝を上げてください。

①スピードピン（大）を抜き、ピン（大）を抜いてください。
（計 2 ヶ所）

②足ボトムを取り外してください。

⚠ 注意	・2 モーター、1 モーターで背上げ膝上げ連動を解除している場合は、座ボトム足側を持ち上げて、ピンを抜いてください。 ・取り外したピン（大）、スピードピン（大）は、紛失しないようにしてください。

⑬ベッドの分解方法

6. 座ボトムの取り外し

①座ボトムを頭側と足側に引っ張り、本体からフックを抜いてください。（計 4 ヶ所）

②座ボトムを取り外してください。

③電源プラグをコンセントに差し込み、手元スイッチで背ボトム受けフレームと膝を完全に下げてください。
3 モーターは膝も完全に下げてください。

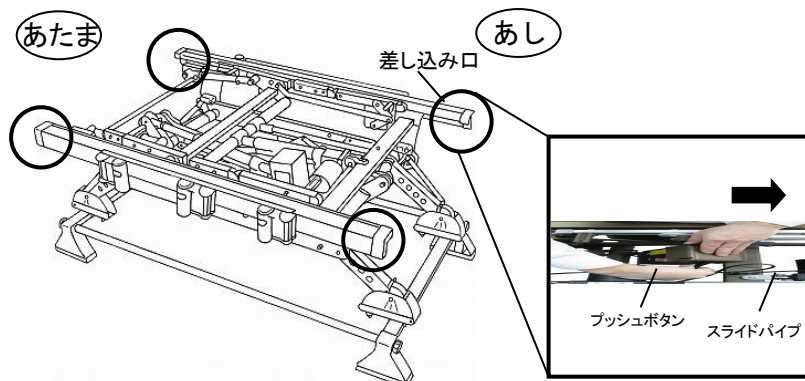
<u>※ベッド高さは下げないでください。</u>

④アダプターカバーを取り外してください。

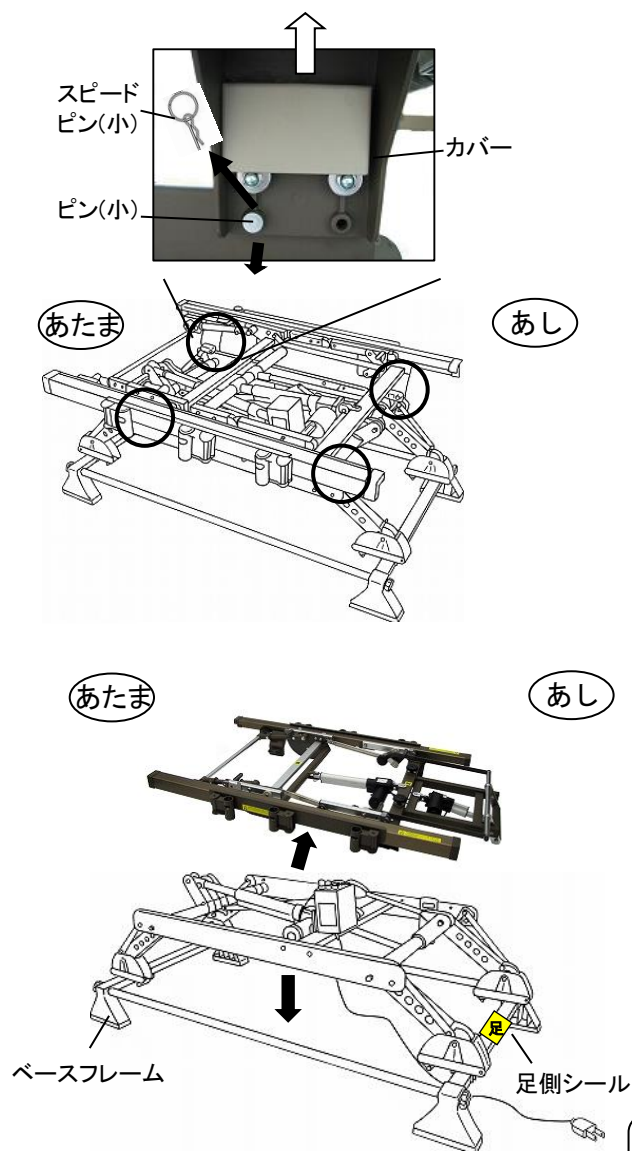
⑤背上げアクチュエーターのコネクター(3、2 モーターは B、1 モーターは A)をアダプターから抜いてください。
3 モーターは膝上げアクチュエーターのコネクターC も抜いてください。

⑥電源プラグをコンセントから抜いてください。

取り外したピン（大）・スピードピン（大）は、紛失しないようにしてください。

7. スライドパイプ（頭側・足側）の取り外し

①プッシュボタンを押しながら、スライドパイプを抜いてください。（頭側・足側各 2 ケ所）

⑬ベッドの分解方法

8.可動部フレームの取り外し

①カバーを上にスライドさせて取り外し、スピードピン(小)を抜き、ピン(小)を抜いてください(計 4 ヶ所)

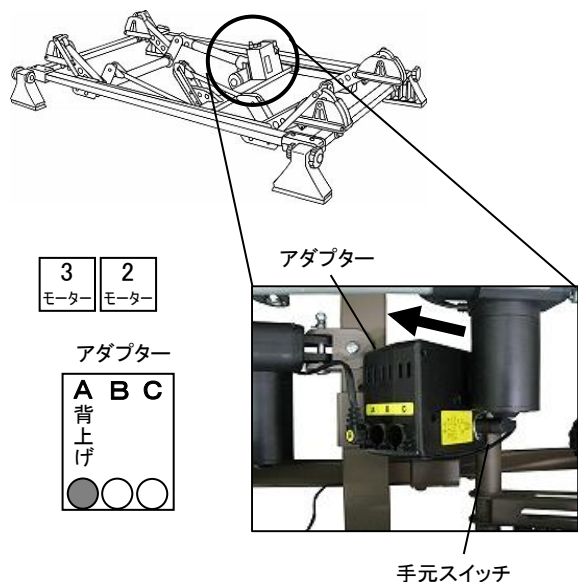
②可動部フレームを持ち上げ、ベースフレームから取り外してください。

③電源プラグをコンセントに差し込み、手元スイッチでベッドの高さを一番下まで下げてください。

④電源プラグをコンセントから抜いてください。

注意

・取り外したピン(小)、スピードピン(小)、カバーは、紛失しないようにしてください。

9.アダプター・リモコンの取り外し

①3 モーターと 2 モーターは高さ調節アクチュエーターのコネクターAをアダプターから外してください。

②手元スイッチのコネクターを、アダプターから外してください。

③アダプターを抜いてください。

※アクチュエーターのコードや電源コード、手元スイッチコードは束ねて保管してください。

⑬ベッドの分解方法

10.分解した部品の保管

・ベッド分解後、部品を無くさないよう袋に入れ、取扱説明書、本体構成部品と一緒に保管してください。
・アクチュエーターのコネクターコード、手元スイッチ、電源コードは束ねて保管してください。
・座ボトムは可変しますので、ご注意ください。

■付属品

・取扱説明書　1 枚

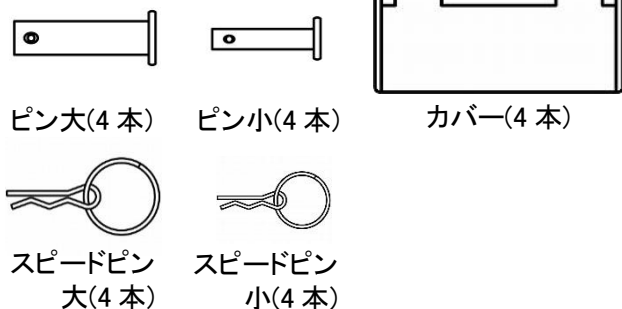
■組立部品

ピン大(4 本)　ピン小(4 本)

カバー(4 本)

スピードピン大(4 本)　スピードピン小(4 本)

■電子部品

・アダプター　・手元スイッチ　・アダプターカバー

■本体構成部品

・ベースフレーム　・可動部フレーム

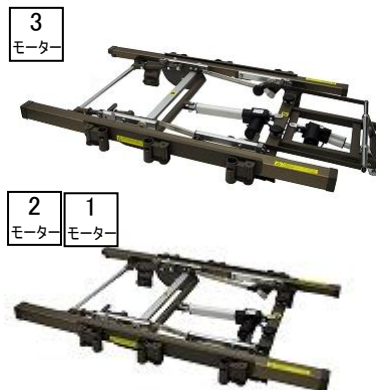
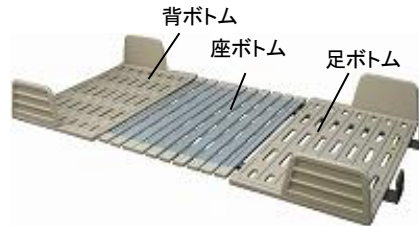
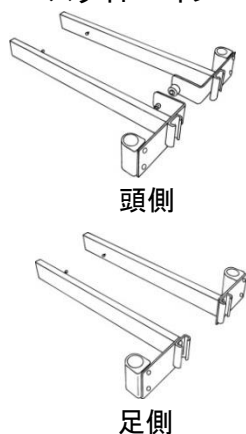
・ボトム類(背・座・足)

・スライドパイプ

頭側

足側

・ボード(ヘッド、フッドボード)

樹脂製　木製

・サイドレール(2 本 1 組)

※3 モーターには、2 モーターへ変更する場合の下記組立部品が同封されています。(3 モーター)

ピン小(2 本)
6*20

スピードピン小(4 本)

M8 座金(4 個)

パイプカラー(2 個)

M8 ばね座金(2 個)

M8 ナット(2 個)

⑭日常のお手入れ

⚠ 警告	**・お手入れの際は、必ず電源プラグを抜いてください。** **・直接水をかけないでください。感電やショート、故障の原因となります。**

●ベッド本体

・中性洗剤を水で薄め、やわらかい布に浸して強く絞って拭き、その後乾いた布で拭き取ってください。

・アルコール、シンナー、ベンジン、灯油、ガソリンなどの有機溶剤は絶対に使用しないでください。

●サイドレール

・ベッド本体のお手入れと同様です。

●マットレス

・マットレスの取扱説明書に従ってください。

⑭故障かな？と思ったら

●修理を依頼される前に、以下の項目をお確かめください。

症状	確認	処置	参照先
手元スイッチを押してもベッドが動かない。	電源プラグは、コンセントに差し込まれていますか？	電源プラグをコンセントに差し込んでください。	―
	コンセントに電気がきていますか？	コンセントに他の電気機器のプラグを差し込んで、確認してください。	―
	手元スイッチのコネクターが外れていませんか？	手元スイッチのコネクターをアダプターの差し込み部に、確実に差し込んでください。	15 ページ
	アクチュエーターのコネクターが外れていませんか？	高さ調節・背上げ・膝上げのコネクターをアダプターの差し込み部に、確実に差し込んでください。	15 ページ(高さ調節) 17 ページ(背上げ) 17 ページ(膝上げ)
	ベッド周辺・可動部に障害物がありませんか？	障害物を取り除いて、再度操作をしてください。	―
操作したボタンと異なる場所が動く。	アクチュエーターのコネクターが正しく配線されていますか？	アクチュエーターのコネクターを正しく配線してください。	15 ページ(高さ調節) 17 ページ(背上げ) 17 ページ(膝上げ)

●お確かめいただいても正常に動作しない場合やその他の症状の場合は、すぐに使用を中止し、電源プラグをコンセントから抜いて、販売店、または弊社まで点検・修理をご依頼ください。

●点検・修理をご依頼の際は、ベースフレームに貼られたシリアル番号もあわせてご連絡ください。

⑮保管方法

長期間ベッドを使用しない時は、下記の点にご注意ください。

●高温・多湿・ほこりの多い場所を避けてください。
●取扱説明書を紛失しないように、大切に保管してください。

1.組み上がった状態でベッドを保管する場合

●背・足ボトムを水平にしてください。
●ベッドの高さを最低高さまで下げてください。
●ベッド上にはマットレス以外載せないでください。
●マットレス上には、何も載せないでください。
●ベッドは立て掛けや横倒しにせず、床に水平のまま保管してください。
●電源プラグはコンセントから抜いて、束ねて置いてください。

2.分解した状態でベッドを保管する場合

ベッドの分解は、お買い上げの販売店に依頼されることをお勧めします。
●ベッドの分解方法 27～30 ページに従って分解をしてください。

注意

・再びベッドを使用される場合は、15～19 ページに従って組立ててください。
組立て後は、かならず 20 ページに従って点検を行ってください。

⑮移動方法

1.組み上がった状態でベッドを移動させる場合

●ベッド本体は、3 モーターで約 75.9kg、2 モーターで約 71.8kg、1 モーターで約 70kg です。
4 人で運んでください。
●ご使用者をベッドから降ろしてください。寝具、マットレス、サイドレールなどは外してください。
●可動部フレームを持って移動してください。
●手元スイッチや電源コードの破損に注意してください。

注意

・ヘッドボード、フットボード、サイドレール受け、スライドパイプなどは持たないでください。

2.分解した状態でベッドを移動する場合

ベッドの分解は、お買い上げの販売店に依頼されることをお勧めします。
●ベッドの分解方法 27～30 ページに従って分解をしてください。

注意

・再びベッドを使用される場合は、15～19 ページに従って組立ててください。
組立て後は、必ず 20 ページに従って点検を行ってください。

⑯仕様

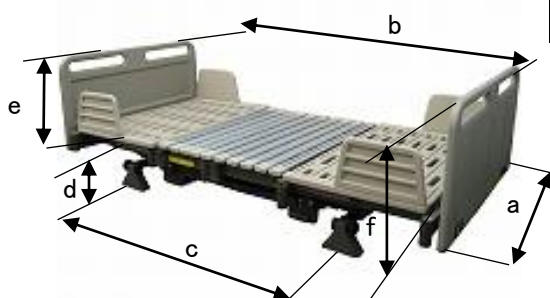
<table>
<tr><td rowspan="26">ベッド本体</td><td colspan="2"></td><td>3 モーター</td><td>2 モーター</td><td>1 モーター</td></tr>
<tr><td colspan="2">型番</td><td>SB-3000</td><td>SB-1000</td><td>SB-2000</td></tr>
<tr><td rowspan="8">寸法</td><td>a:全幅</td><td colspan="3">103cm</td></tr>
<tr><td>b:全長</td><td colspan="3">199～209cm</td></tr>
<tr><td>c:脚座間の長さ</td><td colspan="3">117cm</td></tr>
<tr><td>d:ボトムの高さ</td><td colspan="2">29.5～60.5cm</td><td>29/34.9/40.8/46.7/52.6cm</td></tr>
<tr><td>e:ヘッドボード高さ</td><td colspan="3">36cm</td></tr>
<tr><td>f:フットボード高さ</td><td colspan="3">36cm</td></tr>
<tr><td>ボトム幅</td><td colspan="3">92.5cm(背、足ボトム)/ 89.5cm (座ボトム)</td></tr>
<tr><td>ボトム長さ</td><td colspan="3">184cm</td></tr>
<tr><td colspan="2">総重量</td><td>約 75.9kg</td><td>約 71.8kg</td><td>約 70kg</td></tr>
<tr><td colspan="2">モーター数</td><td>3 モーター</td><td>2 モーター</td><td>1 モーター</td></tr>
<tr><td colspan="2">手元スイッチボタン数</td><td>6 個</td><td>4 個</td><td>2 個</td></tr>
<tr><td rowspan="5">主な材質</td><td>ベースフレーム</td><td colspan="3">・アルミ/スチール製…アルマイト、クロムメッキ、粉体塗装仕上げ</td></tr>
<tr><td>可動部フレーム</td><td colspan="3">・アルミダイカスト成形品</td></tr>
<tr><td>スライドパイプ</td><td colspan="3">・合成樹脂成形品</td></tr>
<tr><td>ボトム</td><td colspan="3">・アルミ製…アルマイト仕上げ
・アルミダイカスト成形品
・ポリエチレン、合成樹脂成形品</td></tr>
<tr><td>ヘッド・フッドボード</td><td colspan="3">ポリエチレン、合成樹脂成形品</td></tr>
<tr><td colspan="2">最大使用者体重</td><td colspan="3">130kg</td></tr>
<tr><td colspan="2">安全使用荷重</td><td colspan="3">174kg(1700N) ※1</td></tr>
<tr><td colspan="2">最大マットレス厚み</td><td colspan="3">14cm(BB-2101、BB-2102、BB-2152) ※2
20cm(BB-2103、BB-2104、BB-2153)</td></tr>
<tr><td rowspan="2">背上げ</td><td>傾斜角度</td><td colspan="3">0～約 70°</td></tr>
<tr><td>時間</td><td colspan="3">約 29 秒</td></tr>
<tr><td rowspan="2">膝上げ</td><td>傾斜角度</td><td>約 22°</td><td colspan="2">約 22°（背上げ膝上げ連動時）</td></tr>
<tr><td>時間</td><td>約 8 秒</td><td colspan="2">―</td></tr>
<tr><td rowspan="2">高さ調節</td><td>調節幅</td><td colspan="2">約 32cm</td><td>約 23.6cm (5.9cm 刻み)</td></tr>
<tr><td>時間</td><td colspan="2">約 23 秒</td><td>―</td></tr>
</table>

<table>
<tr><td rowspan="4">電装品</td><td>モーター形式</td><td>リニアアクチュエータ(DC モーター)</td></tr>
<tr><td>電源電圧、周波数</td><td>AC100V、50/60Hz</td></tr>
<tr><td>電源コード長さ</td><td>約 3m</td></tr>
<tr><td>連続使用時間</td><td>約 2 分(休止時間 約 18 分)</td></tr>
</table>

※1 最大使用者体重とマットレスやオプションを含めた重さ

※2 サイドレール、ベッド用グリップ使用時に適合する最大マットレス厚み

■各部の寸法

a～f の寸法は、上記表に記載しています。

	項目	箇所
a	全幅	最大外径寸法(取付口使用時)
b	全長	最大外径寸法
c	脚座間の長さ	脚座の中心間長さ
d	ボトムの高さ	床～ボトム上面(最低高さ～最高高さ)
e	ヘッドボード高さ	ボトム上面～ヘッドボードの上端
f	フットボード高さ	ボトム上面～フットボードの上端